



型がいざなう

「水玉」と「林」の書は、冬真さんが習字の授業でお題にならって書いたもの。書の世界には、基本の8技法を示す

「永字八法」という言葉があります。

2つのお題は8技法の

すべてを必要としますが、

冬真さんは、基本を忠実に守り、

見事に書き上げました。

「型があるから型破り、

型がなければ、それは形無し」

名優として名を馳せた歌舞伎役者、

18代目・中村勘三郎の

座右の銘として知られる言葉です。

素直な運筆、おおらかで力強い線。

お手本に似せて書いてもにじみ出てくる

文字の豊かな表情が、冬真さん「らしさ」。

その個性が、どう伸びていくのか、

これからの成長がとても楽しみです。